

- 問1 日本の中部地方において、飛騨・木曽・赤石山脈からなる日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形帯を何と呼びますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 日本海溝                      2. 中央構造線                      3. 環太平洋造山帯                      4. フォッサマグナ
- 
- 問2 地形図において、住宅地が広がる地域のそばを河川が流れており、その周辺の標高が周囲の土地よりも低くなっている場合、防災対策として優先的に確認すべき事項として最も適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 急傾斜地崩壊危険箇所の指定状況と、土石流への備え                      2. 震災時に大規模な火災が発生した場合の広域避難場所への経路                      3. 河川が氾濫した際の浸水の深さや、避難場所を示したハザードマップ                      4. 海岸線からの距離と、津波避難タワーの設置場所
- 
- 問3 火山噴火時の降灰の厚さや噴石の到達範囲などが予測して示されている地図を活用する主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 土地の正確な高低差を測量し、建築基準の確認に利用する                      2. 鉄道やバスなどの交通網を確認し、最短経路を検索する                      3. 災害発生時の被害を小さくし、住民の安全な避難に役立てる                      4. 地域の特産品や観光名所を紹介し、観光客を誘致する
- 
- 問4 地形図において等高線の間隔が非常に狭く密集している場所で、長雨や集中豪雨の際に特に発生する危険性が高いため、ハザードマップで警戒区域に指定されやすい災害として最も適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 地震の揺れによって起こる津波                      2. 堤防の倒壊に伴う洪水                      3. 大規模な火山の噴火                      4. 山崩れや地すべりなどの土砂災害
- 
- 問5 日本の太平洋側を北から南へと流れる寒流で、三陸海岸の沖合において暖流である日本海流（黒潮）とぶつかり、豊かな漁場である「潮目（潮境）」を形成する海流の名称を選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 千島海流（親潮）                      2. リマン海流                      3. 対馬海流                      4. 日本海流（黒潮）
- 
- 問6 日本の四季折々の年中行事は、それぞれの時期や目的が深く結びついています。次の説明のうち、内容が正しいものを選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。                      2. 四月に行われる灌仏会は、秋の収穫に感謝するために全国の農村で行われる行事である。                      3. 五月に行われるひな祭りは、女の子の成長を願って雛人形を飾る行事である。                      4. 三月に行われる端午の節句は、男の子の成長を願って鎧や兜を飾る行事である。
- 
- 問7 洪水や土砂災害などの自然災害が発生した際に、被害が及ぶと予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に共有するために作成された地図の名称として、適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. ハザードマップ                      2. 主題図                      3. 地形図                      4. 統計地図
- 
- 問8 屋久島や小笠原諸島の近海を通り、日本の南岸から太平洋側に沿って北上する海流があります。この海流は、塩分濃度が高く透明度が高いという特徴を持っており、別名を「日本海流」とも呼びます。この暖流の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 対馬海流                      2. 黒潮                      3. 親潮                      4. リマン海流
- 
- 問9 ある都市の気象統計において、一月の平均気温が氷点下となり、八月の気温は高い一方で、年間の降水量が千ミリメートルを下回るほど全体的に少ないというデータが見られます。このような気候が形成される背景として、地形の影響を説明した文を選びなさい。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬の気温が下がりにくくなっている。                      2. 低緯度の島しょ部に位置しているため、一年を通して強い日差しを受ける。                      3. 周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が遮られやすい。                      4. 広大な平野部が広がっているため、季節風が直接吹き込みやすくなっている。
- 
- 問10 東京都に属する小笠原諸島、岩手県の平泉、そして山梨県と静岡県にまたがる富士山を比較した資料において、小笠原諸島のみが「世界自然遺産」に区分されています。小笠原諸島が、平泉や富士山のような「文化遺産」ではなく「自然遺産」として登録された理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 世界最大級のブナの原生林が広がり、氷河期から続く多様な植物相が手つかずのまま残されているため。                      2. 誕生以来、一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島であり、独自の進化を遂げた固有種が多く存在するなど、貴重な生態系が見られるため。                      3. 火山活動によって形成された急峻な山岳地帯であり、日本特有の山岳信仰と結びついた文化的景観が高く評価されたため。                      4. 亜寒帯に属する厳しい自然環境の中に、大規模な湿原や針葉樹林が広がり、渡り鳥の重要な中継地となっているため
- 
- 問11 松尾芭蕉が『おくのほそ道』の旅において江戸を出発した直後、現在の千住付近で渡し船を利用して渡ったとされる、関東地方を象徴する大規模な河川はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 四万十川                      2. 最上川                      3. 利根川                      4. 石狩川
- 
- 問12 南海トラフ地震による被害が想定されている地域について、地形的な特徴に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 太平洋沿岸の広い範囲において、大規模な津波の到達が予測されている。                      2. 日本海側に位置する富山県などの沿岸部で、津波の被害が最も大きくなると予測されている。                      3. 海底で新しいプレートが形成されることで、海水の水位が急激に下がる現象が予測されている。                      4. 内陸部の活断層が直接の原因となるため、津波の心配は全くないと考えられている。
- 
- 問13 地形図において、等高線の間隔が広がっている場所の地形的な特徴と、その土地条件を活かして行われる一般的な土地利用について、最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 傾斜が緩やかであり、果樹園として利用される                      2. 傾斜が急であり、針葉樹林として利用される                      3. 傾斜が緩やかであり、広大な水田として利用される                      4. 傾斜が急であり、土砂災害を防ぐ広葉樹林として残される